

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市藤白台集合住宅C2棟	階数	地上2F、地下1F
建設地	大阪府吹田市藤白台3丁目	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2019年7月22日
敷地面積	5,169㎡	作成者	(株)アル・アイ・エー 川岡 功待
建築面積	1,363㎡	確認日	2019年4月11日
延床面積	3,375㎡	確認者	(株)アル・アイ・エー 川岡 功待

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・地域外環境	2.5

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺になじむヒューマンスケールな建物デザイン及びランドスケープデザインとする。外部環境は団地全体の空間構造を読み取り、駐車・駐輪場の配置を決定し、ユニバーサルデザインにも配慮した。	特になし
Q1 室内環境 自走式立体駐車場のため、評価対象外	Q2 サービス性能 耐久性の低い材料を使用しないよう配慮し、必要最低限の計画とする。
Q3 室外環境(敷地内) 既存のまちなみの環境構造を読み取り、豊かな生活環境を継承して美しいまちなみを創り出す計画とする。	
LR1 エネルギー 自走式立体駐車場のため、評価対象外	LR2 資源・マテリアル 解体・改修・更新が容易な施設計画とする。
	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場及び駐輪場台数の確保、光害を抑制した外構照明計画など、敷地外環境に配慮した計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0066

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市藤白台集合住宅 C2棟						
	建設地	大阪府吹田市藤白台3丁目						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価						-
②	みどり・ヒートアイランド対策							3
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					2.0	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						-
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						-
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							